

第十二回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

熊本市賞一句

草茂る傷跡いまも田原坂

熊本県熊本市

田中

和明

特選三句

高々と蔓荔枝巻く城下町

長野県小諸市

田中

匡子

山路行く秋の木もれ日妻の背に

熊本県熊本市

山本

哲夫

せみないてじわりじわりと土われる

熊本県熊本市

田中

愛子

投句総数

二六句

開函日

平成二十五年十月三十一日

第十二回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」

主宰 高岡 周子 選

奈良・斑鳩町賞一句

酒樽の箍確かなる新走

大阪府東大阪市 中森 美代子

特選三句

いかるがの三塔近く田水沸く

奈良県北葛城郡 荻野 孝雄

夢殿の闇も尊し薄紅葉

奈良県天理市 松田 吉憲

法隆寺釣瓶落しに気がつかず

奈良県大和郡 菊本 章生

投句総数 二九二句

開函日 平成二十五年十月三十一日

第十二回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

子規はいく賞三句

一葉落つ赤い鼻緒の下駄の上

愛知県稲沢市 荒木 節子

板の間のきしむ足音夏休み

埼玉県さいたま市 小笠原 憲子

えんがわでせんすばたばたそうせきてい

愛知県名古屋市 谷口 あやな

特選三句

風鈴が鳴りて明治の父のこと

愛知県犬山市 佐々木 珠美

そぞろ寒黒き納戸の桐箆笥

愛知県春日井市 野田 公雄

ゆうれいを見るかもしれない夏の森

東京都渋谷区 矢部 陽菜子

投句総数 一九六 句

開函日 平成二十五年十月三十一日

第十二回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

子規庵の子規の机に柿一つ

埼玉県さいたま市

岡村

行雄

自画像のあごのいびつに種ふくべ

東京都日野市

小田

笑

糸瓜棚影込み合つてきたりけり

福岡県福岡市

西

美知子

投句総数

八七句

開函日

平成二十五年十月三十一日

第十二回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

特選三句

真之の立ちたる跡や天高し

愛媛県伊予市 曾根 勝子

日本海釣果寝て待つほととぎす

新潟県新潟市 前田 要

投句総数 二二句

開函日 平成二十五年十月三十一日

第十二回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

特選三句

夏名残り大和の海に思ひはせ

埼玉県大里郡 佐藤 恵子

秋深し戦艦大和呉に散る

大阪府大阪市 武政 菊美

投句総数 三八 句

開函日 平成二十五年十月三十一日

第十二回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

秋うらら路地から路地の神楽坂

静岡県静岡市

五十嵐

光郎

秋袷亡母の形見の帯しめて

東京都立川市

武田

道代

紅葉の漱石山房振り返り

東京都新宿区

赤羽

忠明

投句総数

五九 句

開函日

平成二十五年十月三十一日